

輝くひと

第2回

世界に挑戦する、 まちのパティシエ

植崎 義明さん(酒門町在住)

世界最高峰のパティシエ(菓子職人)が集い、チョコレート製の菓技術を競いあう2年に1度の大会「ワールド・チョコレート・マスターズ」。元吉田町にある菓子店「パティスリーKOSA I」のパティシエ、植崎義明さんは、昨年12月に行われた日本代表選考会で、優勝し、日本一に輝きました。

選考会では、彫刻のような大きな作品「ピエスモンテ」など3部門の菓子を制作。デザインや味などを総合的に評価されました。植崎さんのピエスモンテの作品は、貨幣や流通、貿易の壮大な歴史を表現したものです。高さは170cm、14kgのチョコレートを使いました。頂上には、大航海時代をイメージしたチョコレート製の大きな帆船をあしらった、ロマンあふれる大作です。

10月には、パリで行われる本大会に、日本代表選手として出場します。世界大会でもピエスモン



日本代表選考会で優勝した「ピエスモンテ」部門の作品



テを作るため、現在も新たな作品の構想を練っています。

世界への挑戦権を手にしても、植崎さんは「まちのお菓子屋さん」でありたいと話します。たくさんの方の大会に出場し、最先端の知識や技術を身につけるのも、お客さんの笑顔のため。まちの人の力になりたいという思いから、3月11日の地震の際にはKOSA Iの皆さんでパンケーキを作り、近所の方に無料で提供しました。

「菓子をとおして、お客さんの特別な日の手伝いができることが、とてもうれしい」という植崎さん。もらった人が喜び、食べる人に感動を与えることができる菓子を作りたいと、毎日努力を重ねています。植崎さんの手から生まれる宝石のような菓子たちは、お客さんの特別な日を、忘れられない思い出として輝かせていきます。

問2

歴史・史跡

- 第二次世界大戦の末期に、水戸は空襲を受け、甚大な被害を被りました。空襲があったのはいつでしょうか。
- ① 昭和19年12月8日
 - ② 昭和20年3月10日
 - ③ 昭和20年8月2日
 - ④ 昭和20年8月14日

正解率

55%

問1

全般・自然

- 次に示すのは、水戸市内の旧町名、字名を組合せたものです。存在しなかったものが含まれているのは、次のうちどれでしょうか。
- ① 鉄砲町、紺屋町、本丸町
 - ② 楓小路、柳小路、桃小路
 - ③ 奈良屋町、肴町、黒羽根町
 - ④ 馬口旁町、白銀町、鳥見町

正解率

24%

知ってる？

知っ得！

水戸
検 定

第29回

① 本丸町は存在していませんでした。水戸城の本丸があったのは、水戸第一高等学校の場所です。② 本丸町は存在していませんでした。水戸城の本丸があったのは、水戸第一高等学校の場所です。③ 本丸町は存在していませんでした。水戸城の本丸があったのは、水戸第一高等学校の場所です。④ 本丸町は存在していませんでした。水戸城の本丸があったのは、水戸第一高等学校の場所です。

榎 五

問題監修 茨城大学
主催 水戸検定実行委員会